



# 動物介在活動 —施設での動物飼育の実態—

○  
 ○  
 ○  
 ○○第1班○○7組○○鈴木○A子○○田中○B美  
 ○○8組○○中村○CD子○○山田○P子

○  
 ○  
 ○  
 I ○動機及び目的

○○私たちは、訪問介護実習を通して、ひとり暮らしの高齢者が動物とのふれあいを通して寂しさや

II ○方○○○法  
 ○1.

○2.

III ○結○○○果

IV ○考○○○察 (結果及び考察)

留 意 事 項

①用紙サイズ A4  
 ②1 P 4 1 行、1 行 4 0 字、余白 (マージン) 設定は自由  
 ③字体は MS 明朝、フォント 10.5 (但しテーマは 16)  
 ④○は、一文字分の空白  
 ⑤Ⅲの結果とⅣの考察は、同じ項目として「Ⅲ 結果及び考察」としてもよい  
 ⑥各章 (柱立て) の文章最終行と次の章見だしの行間は、1 行空けること  
 ⑦氏名は、7 組からクラスごとに五十音順で記す

V ○ま○と○め

○○本研究は、……………を試みたところ、以下のことが明らかになった。

- 1.
- 2.
- 3.

以上より、……………が示唆された。

引用・参考文献

○1) 一番ヶ瀬○康子○「介護福祉論」○中央法規○1995  
 ○2) 三浦○文夫○「社会福祉言論」○ミネルヴァ書房○1997  
 ○3) 仲村○優一○「福祉専門職の課題」○『月刊福祉』第 10 巻第 1 号○全国社会福祉協議会○1998  
 ○4) 竹内 孝仁○「リハビリ相談室」○<http://www.toyama-c.ac.jp/reha/consul.htm>

謝○○○辞

感想